

3 シンポジウム

(1) 参加各市紹介【東久留米市】

(福生市 加藤市長)

先程から、3月11日は各自治体とも予算審査中だったという話が出ましたけれども、つい最近やっと予算が通ったという、市長会の中で一番若い馬場市長からお話をお願いします。

(東久留米市 馬場市長)

馬場です。よろしくお願いたします。

ただ今御紹介いただきました東久留米市ですが、この間の9月22日の最終本会議で、平成23年度予算を可決していただきまして、大変議会の皆様感謝を改めてさせていただきたいと思っております。これで市民の方に行政サービスを滞りなくできるということで、本当にほっとしております。

先ほど来お話いただきましたように、私今41歳ということで、渡部市長が最年少だったものを大幅に更新して、26市で一番若い市長ということですが、東久留米市としては、今先輩市長がされていたような特徴と言いますと、特徴のあまりないのが特徴なのかなと言えらと思います。

と申しますのも、我が東久留米市は西武池袋線の東久留米駅というところですが、市内に駅はこの1ヶ所でございます。そして市内に1ヶ所あるこの駅を中心として、地域ごとに住宅街が形成され、そしてなんと言いましても大型団地が市内各所に点在しておりますので、今平成23年4月1日現在で約11万4千6百人の人口がございます。市の面積としては12.92キロ平方メートルと書いてありますが、端的に申しますと横がだいたい6キロ位、縦が大体4キロ弱位のひし形のまちでございます。ですので、住宅都市として発展してまいりました。本日の5市の中でも、財政的に見ても一番厳しい状況、また高齢化率といいまして65歳以上のお年寄りの方が、今東久留米市だいたい24%ということで、全国平均的になっておりますが、多摩26市の中でいきますと一番高齢化率が進んでいるまちであります。この一番大きな理由が、先ほど申し上げましたが、大型団地です。この大型団地の発展と共に歩んできたまちでしたので、過去はちょうど正に私の親世代が団地に入り、そこで我々が育ち、巣立って行ったと。その巣立って行った後に、私の親世代の方たちが、だいたい70歳前後だと思っておりますが、団地にそのまま残っていらっしゃる。どうしても高齢化を局地的にしているまちであります。

そんな東久留米市であります、市で誇れることと言いますと、唯一「平成の名水百選」と言いまして、全国これは北海道から沖縄までであります、この中で東京都内で唯一、「平成の名水百選」ということで、落合川と南沢湧水群が選定された、そんな水の誇れる清らかなまちであります。落合川と黒目川の二本の大きな川を挟みまして、この清流が市民の憩いの場になっております。これは東京都の北多摩北部建設事務所さんの御協力もあいまして、例えば一度護岸工事をした落合川を、東京都の御理解をいただきまして、市民運動もあいまして、一度もう一回壊して親水化、芝生を張って子どもたちが気軽に川遊びできるような場所を造ってこられた成果です。これは当然当時の行政、そして東京都の御理解もあります、やはり市民の力がこの湧水を中心に、この東久留米市を創って行こう、守って行こうという思いから発展して行ったと考えております。そういった中で、この資料にも記載させていただいておりますが、昨年12月には秋篠宮殿下がお出でいただきまして、湧水保全フォーラム全国大会 in 東久留米を行わせていただきました。このフォーラムの中で「湧水清流保全都市宣言」というのを起案をしていただきまして、今年の6月には「湧水清流保全都市宣言」をめでたくすることができました。この宣言を一つの起爆剤として、今後もこの湧水、水と緑といった自然の中に住環境が形成されている住みやすいまちをこれからも創って行きたいと思っております。

そしてこの湧水を中心として、七福神巡りとか、小麦を利用した「東久留米うどん」の販売ですとか、様々な取組みを行っております。特に「柳久保小麦」と言う、これは幻の小麦と言われていたものを、これは農林水産省で保存されていたものですが、その種子をもう一度復活させて、この「柳久保小麦」でうどんですとか、かりんとうですとか、地域の中で生まれた物産も売り出して行こうと。また、本日読売新聞の多摩版で、「東久留米うどん」ということで、市内の地粉を使った乾麺も、今まさにこれから売りだそうとしております。

そんな東久留米であります、ぜひ皆さんお出でいただき、また、買っただければと思っておりますが、この東日本大震災の影響は、直接被害と言うものはほとんどありませんでした。26市の中で今日の資料を見ましても、だいたい皆さん震度5弱ということで震度計を凶っていらっしゃいますが、我が東久留米市は市の震度計では震度4でありました。ですので、我が東久留米は多摩26市色々ありますが、砂礫層、川の湧水、清流といった川の中で形成されたまちということで、地盤がいいようです。強いようです。食器棚から食器がわっと溢れたというお話をよく他の近隣市の方から聞くのですが、東久留米市ではそういう事例がほとんどなかった。そういったことから、東久留米市は土壌的には地震に強い土地なのかなと自負しております。ぜひこれからお宅をお求めの際は、東久留米市を御一考していただければと思っております。

そんな東久留米の中で直接被害はございませんでしたが、一つは帰宅困難者として駅に滞留された方に対する保護の取組みをさせていただきましたが、正直申し上げてテレビの中の津波の映像というものを茫然として見ている状態でした。ただその後、大きなこととして計画停電がございましたので、この計画停電に対しての情報の提供の仕方というのが非常に苦慮したところであります。先ほど防災無線の話ですとか、色々課題がありましたので、その後の対応についてはお手元の資料にあるように、ほぼ他市と類似しておりますが、こういった活動の中でこれから次の課題となって来ると思われますが、見直さなければならぬ課題に対して、これから市は市民の皆さんと一緒に直して行こうと。これは先ほどの防災無線もそうですし、備蓄品の状況、また、実際に避難所を開所しようという時に、どこに鍵があるのかわからない、また、誰が鍵を開けに行くのかといった、初期動作の段階から現実として対応しきれいいなかったということが様々に浮き彫りになっています。それに対しては、地域防災計画の見直しというものを東京都が行うのに合わせて、この多摩26市の地域防災計画の見直しがありますので、そういった中で実効性のある計画を作り、その計画を実際に行動できる、そんな市民の皆さんとの協働を進めて行こうと考えております。

これから10月の末から11月にかけては、一つは私もタウンミーティングを中学校区ごとにやらせていただきまして、その中で今回は防災に話題を特化した形でタウンミーティングをやらせていただくこと。これは昨年、この5市の市長のシンポジウムで、例えば福生さんもそうですし、この4市の先輩の皆さんそうなんです、地域に協議会とか、コミュニティセンターの協議会とか、そういった地域協議会が他市はあります。それに比べて東久留米市は縦割りで、例えば民生委員さんが何かやるとか、PTAの方が何かやるとか、縦割りの組織が地域にあるのですが、そこに横軸を通すような取組みが弱いのが地域の課題ではないかということ、昨年5市の市長会で市民協働の中から我々も学ばせていただきました。つきましては、今度秋にはタウンミーティングを一つの皮切りとして、地域での絆づくり、地域のコミュニティの再生を取り組ませていただくこと。これもこの5市の先輩方のお話を聞いた成果であると思っております。これから色々困難な状況もありますが、我々東久留米も、この先輩市長の皆様の自治体、また、26市の多摩の一員として、皆さんと一緒に頑張っていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

(福生市 加藤市長)

馬場市長ありがとうございました。今後の議会对策も大変だと思いますので、頑張ってください。そして4市の各市長の皆様にお話をいただきました。本当にありがとうございます。ほとんどが東日本大震災から見えてきたことよりも、御自分の市を売り込むことが多かったのかなと。ある意味トップセールスだなと思っておりますが、私ども福生市も色々と言いたいことがあるんですが、今回は東日本大震災の基調講演ということで、これから私どもの市もシティセールス推進課というのを作りまして、何とか福生市の良さを内外にPRして行かなければならないという使命に燃えております。この次に他の市にお邪魔した時には、徹底してお話させていただきたいという思いでございます。